

## 目次

## 地方自治編

## 第1章 行政区画の変遷 …… 3

第1節 版籍奉還・廃藩置県 …… 3

第2節 宇和島県・神山県から愛媛県 …… 3

## 第2章 町村制時代 …… 5

第1節 八幡浜町の誕生 …… 5

第2節 旧八幡浜市合併地区の行政 …… 5

1 矢野崎村政 …… 5

2 神山町政 …… 6

3 千丈村政 …… 6

4 舌田村政 …… 7

5 双岩村政 …… 7

6 川上村政 …… 8

7 真穴村政 …… 8

8 日土村政 …… 9

第3節 旧保内町合併地区の行政 …… 9

1 喜須来村 …… 9

2 川の石町 …… 10

3 宮内村 …… 10

4 磯津村 …… 11

## 第3章 市制施行 …… 12

第1節 市制施行の変遷 …… 12

1 隣接町村の合併 …… 12

(1) 合併の気運 …… 12

(2) 矢野崎村との合併 …… 12

(3) 神山町・千丈村・舌田村との

合併 …… 12

第2節 八幡浜市の誕生 …… 13

1 市制の施行 …… 13

第3節 昭和の大合併 …… 14

1 旧八幡浜市周辺4か村の合併 …… 14

(1) 八幡浜市長菊池清治談 …… 14

(2) 双岩村長三瀬晴雄談 …… 15

(3) 川上村長新地脩佑談 …… 15

(4) 真穴村長黒野正義談 …… 15

(5) 日土村長高岡愛治談 …… 16

2 旧保内町4か町村の合併 …… 16

(1) 合併促進協議会の設置 …… 16

(2) 合併促進協議会の経過 …… 17

(3) 合併の動機と必要性 …… 18

(4) 合併経過中の問題点 …… 18

(5) 新町名の決定 …… 18

(6) 新役場位置の決定 …… 18

(7) 保内4か町村合併協議書 …… 19

第4節 平成の大合併 …… 20

第5節 歴代市(町)長 …… 23

1 八幡浜市長と市政の概況 …… 23

(1) 酒井市政 …… 23

(2) 西村市政 …… 23

(3) 佐々木市政 …… 23

(4) 第1次野本市政 …… 24

(5) 長井市政 …… 24

(6) 菊池市政 …… 24

(7) 第2次野本市政 …… 24

(8) 魚本市政 …… 25

(9) 清水市政 …… 25

(10) 平田市政 …… 25

(11) 吉見市政 …… 26

(12) 高橋市政 …… 26

2 旧保内町長と町政の概況 …… 27

(1) 都築町政 …… 27

(2) 須藤町政 …… 27

(3) 二宮健次町政 …… 27

(4) 菊池町政 …… 28

(5) 二宮通明町政 …… 28

3 新市になってからの市長と市政の

概況 …… 29

(1) 高橋市政 …… 29

(2) 大城市政 …… 29

第6節 行政機構の変遷 …… 30

1 旧八幡浜市の行政機構の変遷 …… 30

2 旧保内町の行政機構の変遷 …… 31

3 新八幡浜市の行政機構の変遷 …… 31

4 新八幡浜市の副市長(助役)・

収入役 …… 31

第7節 広域行政 …… 32

1 八幡浜地区施設事務組合 …… 32

(1) 広域消防事業 …… 32

(2) 特別養護老人ホーム(青石寮)

事業 …… 32

(3) し尿処理(一楽園)事業 …… 32

(4) 一次救急休日・夜間診療所事業 …… 33

2	八幡浜・大洲地区広域市町村圏 組合	33
3	佐田岬広域観光推進協議会	34
第8節	市議会	34
1	議員定数の推移	34
2	議会機構	35
3	新八幡浜市の歴代議長・副議長	35
第9節	行政委員会及び委員	35
1	監査委員	35
2	選挙管理委員会	36
3	固定資産評価審査委員会	36
4	公平委員会	37
5	教育委員会	37
6	農業委員会	37
第4章	財 政	38
第1節	旧市町村の財政状況	38
1	旧八幡浜市の財政状況	38
(1)	市制初期の財政規模	38
(2)	戦後の財政	40
(3)	赤字の発生から財政の再建へ	41
(4)	1975（昭和50）年以降の財政 状況	46
(5)	平成の財政状況	52
2	旧保内町の財政状況	54
(1)	旧町村の財政状況	54
(2)	合併後の財政状況	55
(3)	1994（平成6）～1996（平成8） 年度当時の町の財政状況	57
(4)	町税	58
(5)	平成の財政状況	59
第2節	合併後の財政状況	61
1	合併後（2004（平成16）年度以降） の財政状況の推移	61
(1)	歳入	61
(2)	歳出	61
(3)	決算収支	61
(4)	経常収支比率	62
(5)	財政力指数	63
(6)	地方債現在高及び実質公債費比 率、将来負担比率	64
(7)	積立金現在高	65
(8)	普通会計総括表、特別会計・企 業会計決算表	65
第3節	財政の現状と課題	67

第5章	社会福祉	68
第1節	社会福祉	68
1	戦前の社会福祉	68
(1)	明治時代	68
(2)	大正・昭和初期	70
2	戦後の社会福祉	71
(1)	老人福祉	72
(2)	児童福祉	74
(3)	障害者福祉	81
(4)	母子・父子・寡婦福祉	85
(5)	引揚者・留守家族などの援護	86
(6)	生活保護	86
(7)	公営住宅	88
(8)	社会福祉協議会	89
第2節	医療保障制度	92
1	国民健康保険	92
(1)	国民健康保険の実施	92
(2)	国民健康保険の再建と国民皆保 険	93
(3)	国民健康保険の現状と課題	94
(4)	国民健康保険組合直営診療所	95
2	高齢者医療	96
(1)	老人医療費支給制度（老人医療 費の無料化）と老人保健制度	96
(2)	退職者医療制度	96
(3)	後期高齢者医療制度	97
3	介護保険	97
4	その他の医療保障	99
(1)	乳幼児及び児童医療費助成	99
(2)	重度心身障害者医療費助成	99
(3)	母子家庭医療費助成	99
第3節	所得保障	100
1	国民年金	100
(1)	戦前の年金制度	100
(2)	戦後の年金制度と国民皆年金	100
(3)	国民年金基金制度	102
2	児童扶養手当など	102
(1)	児童手当（子ども手当）	102
(2)	児童扶養手当	103
(3)	特別児童扶養手当	103
(4)	障害児福祉手当	103
(5)	特別障害者手当	103
第6章	保健衛生	104
第1節	衛生行政の歩み	104

1 明治・大正・昭和初期の衛生行政…	104	第8章 土 木 ……	135
(1) 伝染病とその対策…	106	第1節 都市計画…	135
(2) 川之石のペスト…	107	1 都市計画区域…	135
(3) 八幡浜のペスト…	109	2 地域地区…	135
(4) 千丈村の伝染病…	109	(1) 用途地域…	135
(5) 双岩村の伝染病…	109	(2) 特別用途地区（特別工業地区）…	136
(6) 真穴村の伝染病…	110	(3) 準防火地域…	136
(7) 矢野崎村の伝染病…	110	(4) 臨港地区…	136
2 避病舎の歩み…	110	3 都市計画施設…	136
第2節 時代の変化と保健行政…	112	(1) 交通施設（道路、駐車場）…	136
1 保健行政の推移…	112	(2) 公共空地（公園・緑地・広場）…	137
2 感染症対策と予防接種…	113	(3) 供給処理施設（下水道・汚物処	
3 母子保健と子育て支援…	114	理場・ごみ焼却場）…	137
4 成人保健と健康増進…	115	(4) 市場…	137
5 老人保健と介護予防…	116	(5) そのほか（防火水槽）…	137
第3節 環境衛生…	117	第2節 道路と橋梁及びトンネル…	138
1 ごみ処理・焼却場施設…	117	1 旧市町の道路変遷…	138
2 不燃物処理場…	119	(1) 主要道路の新設改良…	138
3 し尿処理場…	120	(2) 八幡浜と保内を結ぶ道路…	140
4 火葬場…	121	2 周辺への道路整備…	141
5 野犬対策…	122	(1) 国道197号整備…	141
6 八幡浜市営食肉センター…	122	(2) 国道378号整備…	143
7 公害行政の現状…	122	(3) 県道整備…	144
(1) 公害行政の現状…	122	(4) 地域高規格道路「大洲・八幡浜	
(2) 公害苦情処理…	123	自動車道」…	145
第4節 公的医療機関…	124	(5) 市町道整備…	146
1 市立八幡浜総合病院…	124	3 橋梁整備…	148
(1) 沿革…	124	(1) 明治橋…	150
(2) 現状と課題…	125	(2) 美名瀬橋…	151
2 その他の医療機関…	126	4 トンネル整備…	152
(1) 大島診療所…	126	(1) 千賀居トンネル…	152
(2) 川之石診療所…	127	(2) 大峠隧道…	152
第7章 上 水 道 ……	128	第3節 下水道…	153
第1節 旧市町上水道の沿革…	128	1 旧市町の下水道沿革…	153
1 水道施設の現況…	128	2 下水道と浸水対策…	153
2 水道施設の拡張事業…	129	3 公共下水道の建設…	154
(1) 旧八幡浜市の拡張事業…	129	4 処理場位置決定による幹線管渠	
(2) 旧保内町の拡張事業…	131	建設…	156
(3) 新八幡浜市の拡張事業…	132	(1) 八幡浜処理区…	156
3 南予水道企業団の設立…	133	(2) 保内処理区…	156
4 海底送水管布設事業…	133	(3) 真穴処理区…	156
第2節 簡易水道…	134	5 終末処理場の建設…	157
1 簡易水道施設の現況と課題…	134	(1) 八幡浜処理区…	157
(1) 現況…	134	(2) 保内処理区…	157
(2) 課題…	134	(3) 真穴処理区…	157

6 漁港漁業集落環境整備事業……………	157	2 公設消防の発足……………	174
(1) 喜木津・磯崎地区環境整備……………	157	3 消防団の発足……………	174
7 合併処理浄化槽整備……………	158	(1) 旧市町の消防団変遷……………	174
(1) 合併処理浄化槽の沿革……………	158	(2) 平成の合併による新市消防団	
(2) 合併処理浄化槽の建設……………	159	発足……………	175
第4節 港湾……………	159	4 広域消防……………	177
1 昭和初期の計画と改修……………	159	5 消防施設……………	178
(1) 八幡浜港……………	159	(1) 主な消防ポンプ及び車両……………	179
(2) 川之石港……………	159	(2) 水利……………	179
2 戦後の改修と重要港湾指定……………	159	6 八幡浜消防の近年の取り組み……………	179
(1) 八幡浜港……………	159	第2節 防災……………	181
(2) 川之石港……………	160	1 防災対策への課題と取り組み……………	181
3 フェリー栈橋……………	160	(1) 東日本大震災後の取り組み（南	
4 四国の西の拠点港……………	161	海トラフ地震対策）……………	181
(1) 港湾施設の整備……………	161	第3節 市警察……………	183
(2) 港湾整備計画……………	161	1 八幡浜市警察の沿革……………	183
(3) 港湾振興ビジョン……………	162	<b>第11章 兵 事</b> ……………	184
第5節 漁港……………	162	第1節 徴兵制度……………	184
1 八幡浜漁港……………	162	1 徴兵制度の変遷……………	184
2 そのほかの漁港……………	163	2 徴兵検査と徴兵……………	184
(1) 磯崎漁港……………	163	第2節 民間の支援活動……………	185
(2) 喜木津漁港……………	164	1 在郷軍人会……………	185
(3) 西町漁港……………	164	2 そのほか……………	185
(4) 川之石漁港……………	165	第3節 戦没者と忠霊塔……………	186
(5) 舌田漁港……………	165	<b>第12章 選 挙</b> ……………	187
(6) 川名津漁港……………	165	第1節 選挙制度の変遷……………	187
(7) 大釜漁港……………	166	1 市町村の選挙……………	187
(8) 真網代漁港……………	166	2 郡の選挙……………	188
(9) 穴井漁港……………	167	3 県の選挙……………	188
(10) 大島漁港……………	167	(1) 県議会議員選挙……………	188
<b>第9章 同 和 事 業</b> ……………	168	(2) 県知事選挙……………	189
第1節 部落改善運動と部落解放運動……………	168	4 国の選挙……………	189
1 部落改善運動……………	168	(1) 衆議院議員選挙……………	189
2 部落解放運動……………	169	(2) 参議院議員選挙……………	189
(1) 愛媛県同和对策協議会……………	169	<b>第13章 労 働</b> ……………	191
(2) 八幡浜市同和对策推進協議会……………	169	第1節 戦前の労働事情……………	191
(3) 市同和问题解決推進委員会……………	170	1 明治・大正時代……………	191
第2節 同和对策事業……………	171	2 昭和時代前期……………	192
1 地域環境整備事業……………	171	第2節 戦後の労働事情……………	192
2 同和对策事業……………	171	1 労働会館……………	193
3 隣保館事業……………	172	2 主な労働争議……………	194
<b>第10章 消防・防災・警察</b> ……………	174	(1) 酒六争議……………	194
第1節 消防……………	174	(2) 勤評闘争……………	194
1 消防の沿革……………	174		

(3) 地財法闘争……………	194	2 教育活動の充実……………	219
第3節 戦後の労働政策……………	194	(1) 小学校教育の発展……………	219
1 労働政策……………	194	(2) 中等学校教育などの動き……………	221
2 失業対策事業……………	195	3 戦時下の教育……………	223
第14章 広 報……………	196	(1) 皇国教育の展開……………	223
第1節 広報と行政……………	196	(2) 国民学校の発足……………	223
1 住民組織と広報誌……………	196	(3) 青年学校……………	225
(1) 住民組織……………	196	(4) 戦時下の教育事情……………	225
(2) 広報誌……………	196	第4節 昭和期（戦後）の教育……………	226
(3) そのほかの広報活動……………	197	1 戦後の教育……………	226
2 公聴……………	197	(1) 新学制下の教育……………	226
		(2) 新制中学校……………	227
		(3) 新制高等学校……………	228
		(4) 学校給食の開始……………	228
		2 教育課程の変遷と教育（その1）…	229
		(1) 終戦後の学習指導要領（試案）…	229
		(2) 初版の学習指導要領の不十分な	
		点を整備……………	230
		(3) 教育課程の基準としての性格の	
		明確化……………	230
		(4) 教育内容の一層の向上……………	231
		(5) ゆとりある充実した学校生活の	
		実現……………	231
		第5節 平成期の教育……………	231
		1 教育課程の変遷と教育（その2）…	231
		(1) 社会の変化に自ら対応できる心	
		豊かな人間の育成……………	231
		(2) 基礎・基本を確実に身に付けさ	
		せ、自ら学び自ら考える力などの	
		「生きる力」の育成……………	232
		(3) 「生きる力」の育成、基礎的・	
		基本的な知識・技能の習得、思考	
		力・判断力・表現力等の育成のバ	
		ランス……………	232
		2 学校週5日制の実施……………	233
		第6節 合併後の教育……………	234
		1 教育の目標～八幡浜市の動向【基	
		本方針や目標】～……………	234
		2 小中学校の教育研究の実践……………	234
		(1) 八幡浜市教育研究推進……………	234
		(2) 自主的研究実践……………	235
		3 特別支援教育……………	235
		(1) 特殊教育から特別支援教育へ……………	235
		(2) 特別支援教育の充実……………	236
		4 学校給食……………	237
		5 教育の諸課題……………	238
第1章 学校教育……………	205		
第1節 明治以前の教育……………	205		
1 私塾の教育……………	205		
(1) 上甲振洋が余学楼を開く……………	205		
(2) 曾根愛山が喜木字御神橋たもと			
に私塾を開く……………	205		
2 寺子屋の教育……………	206		
第2節 明治期の教育……………	207		
1 明治初期の教育……………	207		
(1) 学制頒布……………	207		
(2) 小学校の設立……………	207		
(3) 教育令による小学校……………	209		
(4) 私立学校……………	211		
2 明治中期の教育……………	212		
(1) 小学校制度の整備……………	212		
(2) 小学校制度の確立……………	212		
(3) 教育勅語……………	214		
3 明治後期の教育……………	214		
(1) 明治33年の小学校令……………	214		
(2) 国定教科書制度の開始……………	215		
(3) 義務教育制度の確立……………	215		
(4) 教員養成……………	215		
(5) 就学率・出席率の向上……………	216		
(6) 学校維持の苦労……………	216		
第3節 大正・昭和（戦前・戦中）の			
教育……………	217		
1 経済情勢と教育……………	217		
(1) 第1次世界大戦時の教育情勢……………	217		
(2) 大戦後の教育情勢……………	218		
(3) 昭和初期の教育情勢……………	218		

(1) 特色ある学校づくりの展開……………	238	(2) 旧保内町……………	258
(2) 確かな学力の定着と向上……………	238	(3) 合併後の連合 PTA ……………	258
(3) 生きる力をはぐくむ教育の推進…	239	4 その他……………	258
6 児童生徒数減と学校の統廃合……………	239	(1) ボーイスカウトなど……………	258
(1) 喜木津小学校、磯崎小学校の宮 内小学校への統合……………	239	(2) 愛護班・おやじの会……………	259
(2) 大島小・中学校の閉校……………	240	第4節 図書館……………	259
7 八幡浜市学校再編整備検討委員会 の設置と学校の統廃合に関する答申…	240	1 図書館の設立と変遷……………	259
8 最終答申公表後の統合……………	242	(1) 王子文庫……………	259
<b>第2章 社会教育</b> ……………	244	(2) 川の石図書館の誕生……………	260
第1節 社会教育……………	244	(3) 八幡浜市立図書館の設立……………	261
1 戦前の社会教育……………	244	(4) 保内図書館の設立……………	263
(1) 通俗教育から社会教育へ……………	244	(5) 八幡浜市の図書館の現状……………	264
(2) 青少年教育の振興……………	244	第5節 社会体育……………	265
2 戦時下の社会教育……………	245	1 スポーツの推進……………	265
(1) 国民精神総動員運動の展開……………	245	2 体育協会とスポーツ推進委員……………	266
(2) 家庭教育の振興と文化施策……………	245	3 体育施設……………	267
3 戦後の社会教育……………	246	(1) 八幡浜市民スポーツセンター……………	267
(1) 社会教育関係法の整備……………	246	(2) 八幡浜市社会体育施設……………	267
(2) 社会教育関係団体の再編成……………	246	(3) 八幡浜市立武道館……………	267
(3) 視聴覚教育……………	247	(4) 八幡浜市営庭球場……………	267
4 生涯学習への取組……………	247	(5) 八幡浜市民スポーツパーク……………	267
(1) 生涯学習概念の系譜……………	247	(6) 王子の森公園運動広場……………	267
(2) 八幡浜市の取組……………	248	(7) 北浜公園多目的グラウンド……………	268
第2節 公民館……………	250	(8) 双岩コミュニティ公園……………	268
1 公民館の変遷……………	250	(9) 開放学校施設……………	268
(1) 旧八幡浜市の公民館……………	250	(10) 神越コミュニティ公園……………	268
(2) 旧保内町の公民館……………	251	4 体育行事……………	268
(3) 合併後の公民館……………	251	(1) 市民スポーツフェスタ……………	268
2 公民館の運営と活動……………	252	(2) 八幡浜駅伝カーニバル・市民健 康マラソン……………	269
(1) 社会教育学級……………	252	(3) やわたはま国際 MTB レース ……	269
(2) 各種活動……………	254	(4) その他……………	270
3 八幡浜市公民館連絡協議会……………	254	<b>第3章 人権・同和教育</b> ……………	271
第3節 社会教育関係団体……………	255	第1節 人権・同和教育の経過……………	271
1 婦人会……………	255	1 国の動き……………	271
(1) 旧八幡浜市婦人会……………	255	2 本県の動き……………	272
(2) 旧保内町婦人会……………	255	3 本市の動き……………	272
(3) 合併後の連合婦人会……………	256	第2節 学校教育における人権・同和 教育……………	273
2 青年団……………	256	1 人権・同和教育推進の経緯……………	273
(1) 旧八幡浜市連合青年団……………	256	(1) 人権・同和教育部会……………	273
(2) 旧保内町青年団……………	256	(2) 同和教育推進主任……………	274
(3) 合併後の連合青年団……………	257	(3) 研究発表会……………	274
3 PTA……………	257	2 人権・同和教育の取組……………	275
(1) 旧八幡浜市……………	257	(1) 現職教育の充実……………	275

(2) 進路を保障する教育の実践……………	275
(3) 同和問題をはじめとする様々な 人権学習の推進……………	276
(4) 仲間意識に支えられた集団づく りの推進……………	276
第3節 社会教育における人権・同和 教育……………	277
1 地区別同和教育懇談会……………	277
2 八幡浜市人権教育協議会……………	277
(1) 人権・同和教育研究大会……………	278
(2) ブロック別人権教育協議会……………	278
(3) 地区公民館などの取組……………	279
(4) 啓発・広報活動の取組……………	279
(5) 人権・同和教育研修の取組……………	279
3 子ども会……………	280
(1) 学習会……………	280
(2) 子ども会……………	280
(3) 連合子ども会交流事業……………	280
4 市人権尊重作品集……………	280
5 人権問題に関する市民意識調査……………	281
第4章 教育委員会……………	282
第1節 教育委員会の発足……………	282
1 教育委員会の発足……………	282
2 今後の教育委員会……………	282
第2節 歴代教育委員長と教育長……………	283
人物編……………	291